

## 第7回伊賀市歴史的風致維持向上協議会会議録

日 時 : 平成30年5月25日(金) 14:00~16:00

場 所 : ハイトピア伊賀5階多目的大研修室

出席者 : (委員)

菅原委員(会長)【第1号委員】

浅野委員(副会長)【第1号委員】

八尾委員【第2号委員】(欠席)

南出委員【第2号委員】

住澤委員【第2号委員】

滝井委員【第3号委員】

山本委員【第4号委員】(欠席)

枡屋委員【第4号委員】

(代理:三重県県土整備部都市政策課市街地整備班田中主任)、

服部委員【第4号委員】

(代理:伊賀市産業振興部前川次長)

山本委員【第4号委員】

(代理:伊賀市建設部辻村次長)

谷口委員【第4号委員】

地下オブザーバー(国土交通省中部地方整備局建政部都市調整官)

(事務局)

都市計画課:小林副参事・西澤

中心市街地推進課:藤森主査

教育委員会:中林事務局次長、笠井文化財課長、福島

1. 開会挨拶 事務局次長挨拶

2. 委員紹介 事務局から委員紹介

3. 会長・副会長の選任

(会長として菅原委員、副会長として浅野委員が承認される)

会長挨拶 : 伊賀市の文化遺産の価値は、全国や世界に認められたもの、改めて認識をお願いします。どうぞ、よろしくをお願いします。

4. 報告事項

事務局 : (資料1をもとに平成28年度~30年度までの経過を説明)

委員 : 平成29年度は、協議会を開催していませんがその理由は何ですか。

事務局 : 平成29年度は、重点区域の地域と協議し、庁内協議を進めましたが、事業を整理して提案することができず協議会を開催できませんでした。

委員 : 具体的な事業の進捗はありましたか。

事務局 : 計画記載の事業についてはそれぞれ進捗しています。計画変更について

は庁内協議で整理できず協議会でお諮りすることができませんでした。

- 委員 : 分かりました。
- 委員 : 重点区域の要望にはどのようなものがありましたか。
- 事務局 : 上野城下町区域としては無電柱化、サインの整備、防災にかかる消火施設の設置などがありました。また、阿保宿区域では、初瀬街道まつり活性化のため、若者と協働し、QR コード等を使ったサインができないかという意見がありました。島ヶ原宿区域では、策定段階で地域と協議を重ねてきましたが、認定以降は協議ができていません。今後、住民自治協議会や関係機関と協議したいと考えています。
- 委員 : 分かりました。この計画は、地域と共に推進するものと考えています。よろしくをお願いします。
- 委員 : 他にご意見・ご質問ございませんか。
- 委員 : (意見・質問なし)
- 委員 : 続いて、第1回変更について事務局から説明をお願いします。
- 事務局 : (資料2・3をもとに第1回の計画変更内容について説明)
- 委員 : ご意見、ご質問はありませんか。
- 委員 : 第1回の計画変更について、歴史的風致形成建造物が「候補」の段階から「指定」となったことは大きい成果と思います。また、指定された建造物の中に国登録文化財が多く含まれていることも評価できると思います。これら歴史的風致形成建造物に指定された建造物の中で、事業化されているものはありますか。
- 事務局 : 今のところはありません。(後に成瀬平馬家長屋門が該当していると判明。)
- 委員 : 今後の課題と思います。歴史的風致形成建造物の候補から指定になったものは、修景事業を行い歴史的風致の維持向上という観点で成果を上げている自治体もあると思います。市単独予算での事業推進は大変ですので歴史的風致形成建造物の修景にかかる事業化を検討願います。
- 委員 : 新たな歴史的風致形成建造物の候補や指定について今後はどうですか。
- 事務局 : 現在、候補としているものは所有者等の同意を得て指定していきます。上野城下町だけでなく、阿保宿区域、島ヶ原宿区域でも指定の候補を探す調査が必要と考えています。

## 5. 協議事項

- 委員 : 続いて協議事項に入ります。事務局は、説明してください。
- 事務局 : (資料4をもとに平成29年度進捗評価シート(案)について説明)
- 委員 : 分量の関係から、資料4のページごとにご検討いただきたいと思います。  
1・2ページ(評価軸①-1:組織体制)についてご意見ありませんか。平成29年度は、委員の任期満了の年度です。平成29年度については、その年

度内に事業の評価はすべきと考えます。

- 委員 : 平成 29 年度に下水道課が見られませんがどうですか。
- 事務局 : 機構改革により下水道課から上下水道部水道総務課・下水道工務課となりました。
- 委員 : 3・4 ページ (評価軸②-1:重点区域における良好な景観を形成する施策:伊賀市の都市計画との連携及び評価軸③-1:歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項:史跡上野城跡保存整備事業) についてはどうですか。評価シート中の「課題と対応方針」欄へは記述願います。続いて、5・6 ページ (評価軸③-2:史跡旧崇広堂保存整備事業、評価軸③-3:俳聖殿等消防施設整備事業) はどうですか。これも課題と対応方針について記述願います。次に、7・8 ページ (評価軸③-4:春日神社拝殿解体修理事業、評価軸③-5:ヘリテージマネージャー活動支援事業) はどうですか。春日神社の事業期間は、記載内容より長期となっていると思いますが。
- 事務局 : 春日神社の事業については、34 年度の完了を目指しています。
- 委員 : 事業期間が延びているので、そのように記述願います。
- 委員 : 文化財の調査や整理には経費が必要であり、予算化をお願いしたい。
- 事務局 : 評価シートの「課題と対応方針」欄に「調査にかかる経費の予算化」と記述していますが、それでよろしいですか。
- 委員 : よいと思います。
- 委員 : 9・10 ページ (評価軸③-6:伊賀市空き家情報バンク daco(ダーコ)不動産運営事業)、評価軸③-7:松生家活用事業) については、どうですか。
- 委員 : 松生家活用は「市単独事業」となっていますが、市が運営でよいですか。
- 事務局 : 計画策定時は、市単独事業としましたが、現在、民間主体の運営です。
- 委員 : 9 ページのグラフと写真は、説明が必要と思います。
- 委員 : 9 ページについて、事業は市が進めており、文章やデータは伊賀市全体を記述しているものと考えます。
- 委員 : 整理して修正願います。10~12 ページ (評価軸③-8:まち巡り拠点施設整備事業(成瀬平馬屋敷門活用事業)、評価軸③-9:修景助成事業) は、どうですか。
- 委員 : 街なみ環境整備事業は、平成 29 年度からいつまでですか。
- 事務局 : 平成 32 年度までです。
- 委員 : 13・14 ページ (評価軸③-10:ポケットパーク整備事業、評価軸③-11:道路美化事業(上野城下町区域)) については、どうですか。
- 委員 : 14 ページについて、平成 29 年度以降は市単独事業と記載されていますが、交付金は計上していますか。
- 事務局 : 計上していると思います。次回の評価シートの記述は変更されると思います。

- 委員 : 13 ページのポケットパークについてですが、将来的にはどうなるのでしょうか。完成図などはありますか。
- 事務局 : 現在、設計しているところです。
- 委員 : 15・16 ページ(評価軸③-12:道路美装化による歩行者空間整備事業(島ヶ原区域)、評価軸③-13:宿場町景観保存整備事業(島ヶ原区域))はいかがですか。地域の取り組み内容などを記述すべきと思います。
- 委員 : 島ヶ原宿区域では、島ヶ原地域まちづくり協議会産業生活部会で活動を進め、島ヶ原宿本陣において「竹明かりの宴」というイベントを継続的に行っています。現在は、地域独自で実施し、今年も行う予定です。島ヶ原地区にも昔の宿場の街並みが残っていて、地域で残していこうという思いもあって取り組みを進めています。本計画は平成 37 年度までとなっているのでよろしくお願ひします。
- 委員 : 今のご意見のような取り組みがあるので地域と協議をしながら進めていることも記述したらよいと思います。「課題と対応方針」にまちづくり協議会と協議をする旨を記述しておくともよいと思います。
- 委員 : 島ヶ原駅から観菩提寺に向かう道に公園がありますが、産業生活部会で平成 29 年度にその公園の掃除活動を実施しました。また、菊岡氏城跡、増地氏城跡という小さな砦跡の間の道路の清掃活動も行っています。映画『忍びの国』でも出てきた「小源太」という伝説の忍者がいますが、忍者ゆかりの砦跡が残っているので、サクラやツツジを植えるなど、まちづくり協議会で取り組みを進めています。歴史的風致維持向上計画の重点区域の範囲に入っている箇所と思います。
- 事務局 : 活動内容については、今後の予定も含めて記述いたします。
- 委員 : 島ヶ原本陣の話が出ましたが、島ヶ原宿区域では歴史的風致形成建造物が全く無い状態です。ヘリテージの会では、旧街道の宿場町における当時の風情を残す建造物を、歴史的風致形成建造物の候補を選定し、指定を目指したいと考えます。
- 委員 : 現在の計画では、街道の側溝や道路の整備となっています。
- 委員 : 宿場町の景観を維持していくには建造物も含めて調査が必要と思います。
- 委員 : 17・18 ページ(評価軸③-14:上野天神祭のダンジリ行事民俗文化財伝承・活用事業(保存事業)、評価軸③-15:上野天神祭のダンジリ行事民俗文化財伝承・活用等事業(活用事業))はどうでしょうか。
- 委員 : (意見なし)
- 委員 : 19・20 ページ(評価軸③-16:大村神社例大祭民俗文化財伝承・活用等事業、評価軸③-17:初瀬街道まつりイベント支援事業)はどうでしょうか。
- 委員 : 昨年度は大村神社の造工の年でした。20 年に 1 度で住民自治協議会とし

での活動は余りできなかったように思います。しかし、獅子舞や神輿、山車については11月2日・3日に予定通り行いました。神輿や山車については、古くなってきているので修繕が必要と思っています。文化財課とも協議したいと思います。また、例年開催している初瀬街道まつりは、街道沿いの酒蔵と協働して開催しています。その相乗効果もあって、毎年多くの方々に来ていただいています。

阿保宿区域では、旅籠など当時の建物はほとんど残っていないのですが、現在、若い人たちの意見を聞きながら、一緒に取り組みができないか、検討しています。また、昔の街道の様子や旅籠の看板など、写真や資料をQRコードにできないか考えています。写真や資料についても文化財課の協力も得たいと考えています。

委員 : 阿保宿区域においてもヘリテージの会の活動の場としたいと考えています。阿保地区住民自治協議会の方々に、該当すると思う建造物があれば、文化財課を通してお教えいただければと思います。

委員 : 獅子舞の道具は、数年前に宝くじの補助金を受けて、修理したと思います。山車や神輿の修理も行わないといけないと思っています。

委員 : 阿保宿区域、島ヶ原宿区域において、地域で協力いただける組織があれば進捗評価シートに記載したら良いと思います。進捗評価シートについては、歴まち計画の認定以前のことを書いてもよいのでしょうか。

事務局 : この進捗評価シートについては、基本的に認定後の事業内容等を記述するものと考えています。

委員 : 進捗評価シートの中には、計画認定以前の取り組みが書いてあるところが見受けられます。認定に基づく事業の進捗評価をするのであれば、記述するのはどうかと思います。

事務局 : 計画の認定前の内容を記載してよいのか、認定前の活動と認定後の活動内容が判別しづらくなるのでは、とのご指摘かと思いますが、歴まち計画では、同計画が認定された平成28年度以前の取り組み内容を計画書に記載し、認定をいただいた経緯がございます。進捗評価シートには、計画書に沿った内容で記載したところです。確認して整理をしたいと考えます。

委員 : 21・22ページ(評価軸③-18:文化財説明看板設置事業、評価軸④-1:文化財の調査・研究及び条例に基づく指定の推進)についてはどうですか。

22ページですが、「指定の推進」を「指定並びに登録の推進」と活動の内容を拡大してはどうかと思います。

事務局 : 「課題と対応方針」欄に記載します。

委員 : ヘリテージの会は、メンバーが不足していますが、三重ヘリテージの会

とは別に、伊賀へリテージの会を立ち上げているので、活動回数を増やせば、さまざまな取り組みができると考えています。また、国登録文化財の調査等も増やしていきたいと考えています。

委員 : 23・24 ページ (評価軸④-2:文化財の保護事業の推進、評価軸④-3:文化財の保存・活用の普及・啓発) についてはどうですか。

委員 : (意見なし)

委員 : 25・26 ページ (評価軸④-4:埋蔵文化財の保護、評価軸⑤-1:効果・影響等に関する報道) についてはどうですか。記載内容を見ると、紙面に偏りがあるように思います。全国紙に掲載された記事はございませんでしたか。

委員 : 全国紙に載るのは大きな事柄が多いと思います。市域の出来事の大半は、伊賀版のみの掲載に留まっているのが現状です。

委員 : 27・28 ページ (評価軸⑤-2:効果・影響に関する報道、評価軸⑥-1:歴史まちづくりの効果) についてはどうですか。

委員 : (意見なし)

委員 : 平成 29 年度進捗評価シートについて、ページごとに確認いただきましたが、全体を通してご意見はございませんか。

委員 : 進捗評価シートについては、国土交通省へ提出されるのですか。

事務局 : そうです。

委員 : この進捗評価シートの提出内容によって次年度の事業予算に影響があるのでしょうか。

事務局 : 進捗評価シートに関する今後のスケジュールは、国土交通省中部地方整備局へは 5 月末に提出いたします。7 月頃には進捗評価シートをホームページに掲載します。初めての進捗評価シートの提出であり、個別の事業予算への影響については、承知できておりません。

委員 : 進捗評価シートの記載項目には含まれていませんが、個別の各事業の予算がどの程度であったか拝見できればよかったですと思います。各事業の予算について、総額と市の予算、国の補助の内訳などを記載いただければ、本協議会で評価する時に分かりやすかったと思います。どの程度の事業規模であるのか不明なところがありますので。次回以降は作成し、提示いただければと思います。

また、事業予算を獲得するためにも、国の補助を受けている事業については、丁寧に記載することも必要かと思います。

委員 : 国の予算の話が出ましたので少し話をさせていただきます。

歴まち計画では、「社会資本整備事業費」という予算を使っていますが、社会資本整備事業計画の事業年度は、32 年度が最終年度になります。街並み整備、道路、河川などいろいろな交付金をまとめたものですが、そ

の最終年度が 32 年度です。その事業計画の中にも評価があります。事業実施にかかる効果、観光客の変化等、計画が終わるまでに評価することとなります。補助金や交付金の多寡については、社会資本整備事業に対する国等の評価によるところと考えます。

一方、歴史まち計画に伴う進捗評価シートは、あくまでも歴まち計画に対する評価です。景観計画などは本来、自治事務として自治体が発行しているのですが、歴まち計画は国が認定している希なものです。国は計画認定を行っている立場上、計画の進捗を評価している、ということになります。

委員 : ありがとうございます。事務局で文言修正をお願いします。今後はどうのようにされますか。

事務局 : 申し訳ありません。5月31日が締め切りとなっています。

委員 : もう一度協議会を開き、再提案はできないので最終的な取りまとめについてどうしますか。修正した進捗評価シートを持ち回り、委員から承認をいただくか、あるいは、会長が確認するかなど、どうですか。

委員 : (会長一任とすることで同意を得る)

事務局 : それでは菅原会長へ修正案を報告し、ご了解をいただいた後、委員の皆様にご報告します。

委員 : ただいまの事務局案でよろしいですか。

委員 : (意見なし)

事務局 : 計画について、市長からも促進するよう指示がありました。財政状況が厳しく、お約束できないことが多いと思いますが、協議会でご検討いただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

委員 : 今後の予定はどうですか。

事務局 : 11・12月に国土交通省からの計画の変更等について照会があるので、その時期を意識して、本計画の改定や新規事業について、庁内協議を行い、本協議会でご検討いただきたいと考えています。

委員 : 本年度の進捗評価についてはどうですか。年度末に開催する必要があると思いますが。

事務局 : 今年度の進捗評価は、次年度当初の方が、実施しやすいとは思いますが。

委員 : 亀山市では3月に開催しています。進捗評価シートの一部は不完全な箇所もありますが、年1回、定期的で開催されています。

事務局 : 進捗評価と計画変更を抱き合わせで会議を開く方向で考えていきたい。

事務局 : 平成29年度に本協議会を開催できなかったことについては、申し訳なく思っています。次回の日程等については、改めて連絡いたします。

事務局次長 : 閉会挨拶。

終了16:00